

『男の敵』（原題 <i>The Informer</i> ）1935 年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト （監督、脚本家、俳優、その他）	<p>スタッフ：監督&amp; 製作ジョン・フォード/ 脚本ダドリー・ニコルズ/ 音楽マックス・スタイナー/ 撮影ジョセフ・H・オーガスト/ 編集ジョージ・ハイヴリー/</p> <p>キャスト：ヴィクター・マクラグレン：ジボ・ノーラン/ ヘザー・エンジェル：メアリー・マックフィリップ/ プレストン・フォスター：ダン・ギャラガー/ マーゴット・グレアム：ケイティー・マデン/ ウォーレス・フォード：フランキー・マックフィリップ/ ユーナ・オコナー：マックフィリップ夫人/ その他/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	モノクロ	
時間	92 分	
ストーリー	<p>ジボは体力と腕力に優れているが、血の巡りの悪い、ダブリンの大男である。ジボは、恋人で売春婦のケイティーのために、親友フランキーの居所をイギリスの警察に密告して賞金 20 ポンドを得るが、フランキーは警察に射殺される。裏切り者を容赦しないアイルランド独立組織は、密告者の割り出しにかかる。知恵のないジボは、おだてられて酒場で散財し、酔っぱらったあげく、自分が犯人であることを明かす。ケイティーは、ジボの命乞いをするが、裏目に出て、ジボは居所を知られて射たれる。ジボは、最後の怪力を振り絞って教会に這って行き、キリスト像の前でフランキーの母に罪を告白し、赦しを得て、感謝しながら眼を閉じる。</p>	
時代設定	1922 年	
場所	アイルランドのダブリン	
社会背景	<p>アイルランドはイギリスの統治下であり、アイルランド独立を目指す組織が活動していた。イギリス軍警察とアイルランド独立運動活動家の多激しい対立。1922 年のアイルランド独立戦争について描く。</p>	
文化的背景	<p>イギリスから独立しようと必死でもがくアイルランドは、経済的にも政治的にもひっ迫していたが、民族としての独立心とプライドを失ってはいなかった。アイルランド独立の同志としての結束と仲間意識の重要性。本国イギリスに対する敵対意識、カトリックの告解による罪の救済の思想。</p>	

使用言語	英語
テーマ	アイルランドのアイデンティティと仲間としての結束の重要性、貧困ゆえに仲間を裏切る心の弱さ。罪と赦し。
みどころ	体が大きくて腕力は強いがあまり頭の良くないジポが、女のそそのかしに乗って、仲間を裏切り、破滅していく哀れさと愚かさ。カトリックの罪と赦しの思想。
印象深いせりふ	Katie: Gypo! Ah, Gypo, what's the use? I'm hungry, and I can't pay my room rent. Have you the price of a flop on you? Gypo: No. Oh, what's the use? Katie: Don't look at me like that, Gypo. You're all I got. You're the only one. You know that. But what chance have we to escape? Money. Some people have all the luck. Look at that thing, handing us the ha-ha. Ten pounds to America. Twenty pounds and the world is ours. What are you saying that for? . . . Twenty pounds. Might as well be a million. Go on! Go on! Go and get your 20 pounds from that scut I threw in the gutter. Saint Gypo. Too good for me, eh? Well, let me tell you something. You're no better than any other man. You're all alike. Gypo: Oh, Katie, I didn't mean that.
授業教材用 メリット	1920年代の経済的にも政治的にも恵まれない、追いつめられたアイルランドの庶民の状況がよくわかる。貧しさが人の心を間違った方向に導き、破滅に追いやるのが理解できる。
授業教材用 デメリット	古い映画なので、カラフルな3D映像に親しんだ学生の注意を引くのは容易でない。物語の展開がメロドラマ風、芝居じみていて、リアルに感じられない。展開がステレオタイプでなまぬるい。
映像入手元	コスミック出版『アカデミー賞ベスト100選 風と共に去りぬ』/ジュネス企画
原作の有無	リーアム・オフラハティの小説 <i>The Informer</i>
支持反応	Rotten Tomatoes 評価 (批評家 91、観客 78)
キーワード	アイルランド独立戦争、ダブリン、活動家、警察、組織、貧困、密告、裏切り、同志、カトリック、罪、赦し。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。